

フォーラムとは

会合に、フォーラムとかシンポジウム、パネルディスカッションと名付けたものを聞きませんか。先日もフォーラムとはどんな形式の会ですかと聞かれました。

東京国際フォーラムは幕張メッセのような、東京のコンベンションセンターです。また、映画館の名前にフォーラムの文字が入っているものを目にします。これは、フォーラムの名前が古代ローマ時代の集会場や公共広場をさしているところからきています。また、そこで市民が討論を交わしたところでもあるのです。そこで、公開討論会や「世界経済フォーラム」「世界社会フォーラム」などの討論、決定をする場または会をさすこととなります。

ここでは、フォーラムディスカッションの略として使います。知りたいテーマや共通の話題について情報交換しあう会合です。友の会の講演会の後で、お互いが得た知識や感想を述べ合い、交換することはフォーラムの形式です。情報交換して、お互いの知見を高め合うのです。

シンポジウムも、パネルディスカッションもお互いの知見を高め合う場です。

シンポジウムは、立場の違う専門家など数人から数十分の意見の発表があります。それを受け、聴衆から意見や質問を受けて、応答し、そのテーマに対する理解を深めるのです。専門家の間での討議はありません。それに対して、パネルディスカッションは前に出た、立場の違う人たちがディスカッションをして、それを聞いている聴衆からの質疑応答で理解を深めていきます。

目的を達成するために、その場に合った形式を使えるようになりましょう。



ヤマハギ

私が見た光景

ことばと動作

館山のある居酒屋に入りました。魚のおいしい店でお客様も多く繁盛していました。注文をすませ、一人で入っていたのであたりを見回していたのです。斜め前のお客様さんに注文を聞きにきていた従業員、たぶん高校生かなと思われる、は、椅子に座っているお客様の頭の上から、注文を聞き、質問に答え、復唱していました。その光景に、少し違和感を感じたのです。

皆さんは、注文を受ける人の行為をなんと表現しますか。「注文を聞く」と言いますか、「注文を伺う」と言いますか。店構えもよく、客席も多い。テーブルも立派で、料理の値段も幾分高めのお店でした。ここでは、ざっくばらんな話のやりとりの「聞く」より、「伺う」が似合うかなと思いました。

よく見ていると、25歳過ぎの従業員は腰を落とし、片膝を着き、注文を受け取っているのです。これこそ「伺う」にぴったりです。先の若い従業員に教育が行き届いていないのか。教育されていてもまだ身についていないのかは分かりませんが、店の格ににあった対応とは言い難いと考えます。

その場に合う言葉があり、行動があるのです。

(原)